

平成22年度決算に係る

定期監査調書

平成23年4月

喜多原学園

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	2 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	4 頁
8	収入事務処理状況調べ	4 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	5 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	5 頁
11	不納欠損額調べ	5 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	5 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	6 頁
14	財産に関する調べ	7 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	8 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	8 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	9 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	9 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	9 頁
20	備品の処分状況調べ	10 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	10 頁
○	意見、要望等	10 頁
	個別調査事項	
22	所管事項の概要	11 頁
23	入所児童の状況	13 頁
24	支出区分表	16 頁
25	主な施設の整備状況	16 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1)指摘事項 該当なし

(2)監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

局(所)名	課名	係(班)名	課の主な所掌事務
喜多原学園		庶務係	予算及び決算に関すること。 給与・諸手当及び旅費に関すること。 庶務事務に関すること。 財産の管理に関すること。 公用車の運行管理に関すること。
		指導部	児童福祉法第44条の規定による不良行為を なし、又はなすおそれのある児童及び家庭環 境その他の環境上の理由により生活指導等を 要する児童を入所させ、又は保護者の下から 通わせて、個々の児童の状況に応じて必要な 指導を行い、その自立を支援し、あわせて退所 した者について相談その他の援助を行うことを 目的とする事務に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

(平成23年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 年	該 22.4.1 年度 現在	当 年	該 22.4.1 年度 現在	当 年	該 22.4.1 年度 現在	当 年	該 22.4.1 年度 現在	
定 員	16	16			2	2	18	18	
現 員	(1) 17	16			1	2	(1) 18	18	H22.7.4から休職
過不足(Δ)	1				Δ 1				
臨時職員									
非常勤職員	10	10	5	5	1	1	16	16	運転士1・臨床心理士2 夜間指導員10・茶華講師1・囃託医2 合計16

5 役付職員の調べ

(平成23年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
園長	松永 芳久	年 1	月 0	
次長	山田 政則	0	0	出納員

6 主な事業に関する調べ

事業名	概 要
福祉・教育機関合同研修会 決算(見込)額 18千円 (財源内訳) 国庫支出金 9千円 一般財源 9千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 地域(市町村)や学校または施設において、児童を心身ともに健やかに育成し、権利を擁護し、またその自立を支援していくため、学校の教職員、児童相談所等児童福祉関係機関職員が一堂に会して、児童をめぐる状況について共通の理解を深め相互の意思疎通を図るとともに、相互の連携を推進することを目的とする。</p> <p>(イ)事業の実施状況 期日:平成23年2月28日 場所:米子市福祉保健総合センターふれあいの里(米子市錦町1丁目139-3)</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 喜多原学園に学校教育が導入されて14年経過し、分校開設から7年が経過した。児童福祉施設に学校が併設されて、相互に連携しながら機能している喜多原学園の状況を関係機関に周知し、また、平成20年度から導入している児童処遇に関する自立支援プログラムの取り組みについての実態及び改良点等を紹介して、より一層の理解と関係機関の連携を促進するようにした。</p> <p>ウ 成果 例年より開催時期が遅れたため高校入試時期と重なり研修会の参加者が減少したが、学園の現状報告を中心に児童の支援に係る新たな取組等を紹介したことにより、参加者から学園の実情がよく理解できたというコメントを得るなど好評であった。</p> <p>エ 課題 少しでも多くの方に理解を得られるよう、年内には充実した内容で開催できるよう準備に取り組むこと。</p>
地域交流事業 決算(見込)額 36千円 (財源内訳) 国庫支出金 18千円 一般財源 18千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 入所児童の社会参加を促進し、また、児童自立支援施設を地域社会に正しく理解してもらい、地域との交友関係を深めることを目的とする。</p> <p>(イ)事業の実施状況 【こたか保育園との交流事業】 地元の保育園との年間を通じた継続的な交流事業と地域のスポーツ団体とのスポーツ交流事業等を行っている。 苗植え交流会(6/1学園農場)、水遊び交流会(8/11こたか保育園)、芋畑草取り交流会(8/20学園農場)、芋掘り交流会(11/1学園農場)、クリスマスケーキ作り交流会(12/13こたか保育園)</p> <p>【スポーツ地域交流事業】 サッカー交流会(10/2倉吉市営ラグビー場)、車いすバスケットボール交流会(11/28米子サンアピリティーズ)、バスケットボール交流会(2/26学園体育館)</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 こたか保育園との交流については、年間を通じた交流を行うことで、学園児童と保育園児が顔見知りになり、マンツーマンの心の交流が深まるようにした。 地域のスポーツ団体との交流についても、交流先を開拓しながら継続的な交流を目指している。</p> <p>ウ 成果 幼少の保育園児の世話をしたり、異年齢の多くの人たちとのふれあいを通して、入所児童の情緒的発達の刺激となった。 事業が浸透し、保育園児の家族や地域からの理解も得られるようになった。</p> <p>エ 課題 発達障害が背景にある児童や被虐待などのいろいろな家庭環境の中で育ってきた児童たちの人格の尊厳を理解し、自他の権利を尊重できる人間性を育成することを狙いとした事業であることを広く情報発信することが必要である。</p>

事業名	概 要
<p>相談業務及び情報交換事業</p> <p>決算(見込)額 33千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>国庫支出金 14千円 一般財源 19千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 非行児童等について、家庭・学校及び関係機関との情報交換や相談を受け、地域あるいは家庭における養育機能を支援する。</p> <p>(イ)事業の実施状況 毎月1回 鳥取市、米子市、境港市の中学校生徒指導部会に出席し情報交換を行う。</p> <p>イ 平成22年度実施に当たり改善等に取り組んだ点 各地域で開催される生徒指導部会においては、中学生の非行の状況を把握するだけでなく、学園の状況について関係機関出席者へ積極的に情報発信した。</p> <p>ウ 成果 各学校、警察等で現在抱えている非行問題について具体的で最新の情報交換ができ、また、児童同士の広域的つながりについても把握が可能となり、機関相互の連携が促進されている。各市とも児童福祉担当課(要保護児童対策地域協議会事務局)等の福祉行政の関係機関も参加するようになり、連携の幅が広がりにつつある。</p> <p>エ 課題 倉吉市でも生徒指導部会は存在するが、参加できないため同様の取組みができていない。</p>
<p>中卒者等学習強化事業</p> <p>決算(見込)額 2,500千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>国庫支出金 - 千円 一般財源 2,500千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 研修科の支援内容の充実を目的として、義務教育を終了した後、社会自立を目指す入所児童に社会生活を営む上での基礎学力を保障し、高校進学を目指す児童の学習支援を強化する。</p> <p>(イ)事業の実施状況 外部講師への業務委託により学習指導を実施する。 1日4時間、午前8時30分から午後12時30分まで 土日祝祭日を除いた月曜日から金曜日までの5日間で1か月22日を限度とする。</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 今年度からの新規事業であり、4名の中卒児童を対象とした。 うち、1名が単位制の高等学校に10月から進学した。</p> <p>ウ 成果 児童の意向にこたえ、研修科としての支援の質の向上につながった。</p> <p>エ 課題 寮職員との業務連携の方法が未確立であり、情報共有のための時間の確保がうまくいかなかった。</p>
<p>第10回中国地区児童駅伝マラソン大会</p> <p>決算(見込)額 81千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>国庫支出金 23千円 一般財源 58千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 中国5県の児童自立支援施設の児童が相互の親睦を図るとともに、駅伝・マラソンを通じて、体力の技術の向上及び協調性を身につけることを目的とする。</p> <p>(イ)事業の実施状況 期日:平成22年11月5日(金) 場所:緑水園及び緑水湖周辺道路(西伯郡南部町) 種目:駅伝の部、中学生以上男子マラソンの部、中学生以上女子マラソンの部、小学生男女マラソンの部</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 鳥取県が当番県として主催し、鳥取県陸上競技協会から審判員の協力を得た。 女子児童もスタッフとして参加し、学園全体で県外からのお客様のおもてなしをした。</p> <p>ウ 成果 数か月前から放課後の練習を積み重ね、本番では個々のベストを尽くして練習の成果を発揮した。達成感やチームワークを獲得することができた。</p> <p>エ 課題 児童自立支援施設協議会の事業の開催は持ち回りで実施しており、平成23年度は中国地区職員研修会と中国四国職員研修会の2事業を喜多原学園が主催する計画である。</p>

7 収入証紙取扱額調べ 該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産 使用料	行政財産 使用料		2	39,000	39,000		0		
目計			2	39,000	39,000		0		
合計			2	39,000	39,000		0		

(3) 手数料 該当なし

(4) 財産収入 該当なし

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
生産物売 払収入	生産物売 払収入		2	7,300	7,300		0		
目計			2	7,300	7,300		0		
合計			2	7,300	7,300		0		

(5) 諸収入

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
雑入	雑入		1	2,900	2,900		0		過年度概算旅 費精算返納金 の徴収
目計			1	2,900	2,900	0	0		
合計			1	2,900	2,900	0	0		

(6) 現金の取扱状況 該当なし

9 収入未済額調べ 該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1)負担金

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要綱 等を含む。)	備考
児童福祉施設費								
支出金額が10万 円未満のもの						157,360		
目 計						157,360		
合 計						157,360		

(2)補助金 該当なし

(3)交付金 該当なし

(4)委託料

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国 単 果 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日			支出の状況			備考		
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間		契約形態	履行検査 年月日	支出 区分	支出 年月日	金額				
													変更契約(最終)			
													(契約年月日) 契約額		契約期間	
児童福祉施設費	単果	寮舎空調等設備保守 業務委託	米子ガス産業(株)	430,500	(H22.4.1) 430,500	H22.4.1 ~ H23.3.31	H22.3.18 (免除)	H22.6.8外				5年以上随契 異種合わせの 結果				
	単果	水道施設保守管理業 業務委託	(株)王子ダ	820,150	(H22.4.1) 820,150	H22.4.1 ~ H23.3.31	H22.3.4 (免除)	H22.5.1外	精	H22.10.8	395,115	年2回払い 支出予定 395,115				
	単果	給食業務委託	淀川食品(株)	15,487,000	(H21.3.3) 13,708,800	H21.4.1 ~ H24.3.31	H21.2.9 (免除)	H22.4.30外	精	H22.5.13 外	8,290,779					
予定価格が20万円 未満のもの											113,400					
目計											8,799,294					
労政総務費	単果	中卒者等学習強化事 業業務委託	明成学園	2,540円/時間 (単価契約)	(H22.4.1) 2,540円/時間 等	H22.4.1 ~ H23.3.31	H22.3.5 (免除)		精	H22.5.13 外	1,738,642	④ 新規				
目計											1,738,642					
合計											10,537,936					

14 財産に関する調べ

(1)公有財産

ア 土地

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)	
行政財産	学園敷地	米子市泉706	44,339.07	288,827,806	増加	H				H	44,339.07	288,827,806	固定資産税仮評価額から算出した
					減少	H				H			
	水源地	米子市岡成647	551.30	8,270	増加	H				H	551.30	8,270	
					減少	H				H			
	実習地	米子市泉1166	1,869.00	28,035	増加	H				H	1,869.00	28,035	
					減少	H				H			
計			46,759.37	288,864,111							46,759.37	288,864,111	
合計			46,759.37	288,864,111							46,759.37	288,864,111	

イ 建物

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)	
行政財産	本館		1,243.81	296,642,800	増加						1,243.81	296,642,800	
					減少								
	渡り廊下		46.02	5,301,450	増加						46.02	5,301,450	
					減少								
	車庫倉庫		99.40	11,907,000	増加						99.40	11,907,000	
					減少								
	体育館		687.60	184,502,000	増加						687.60	184,502,000	
					減少								
	電気室		30.00	8,050,150	増加						30.00	8,050,150	
					減少								
	プール及び付属建物		72.00	107,271,200	増加						72.00	107,271,200	
					減少								
	食堂棟		357.68	95,426,100	増加						357.68	95,426,100	
					減少								
	男子寮棟		605.85	170,213,400	増加						605.85	170,213,400	
					減少								
	女子寮棟		337.92	107,472,750	増加						337.92	107,472,750	
					減少								
	男子寮多目的家庭舎		53.00	13,344,790	増加						53.00	13,344,790	
					減少								
女子寮多目的家庭舎		53.00	13,344,790	増加						53.00	13,344,790		
				減少									
農機具庫		33.00	8,309,020	増加						33.00	8,309,020		
				減少									
計			3,619.28	1,021,785,450							3,619.28	1,021,785,450	
合計			3,619.28	1,021,785,450							3,619.28	1,021,785,450	

- ウ 山林 該当なし
- エ 動産 該当なし
- オ 物権 該当なし
- カ 無体財産権 該当なし
- キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はがき	円 38,650	円 51,500	円 53,570	円 36,580	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	38,650	51,500	53,570	36,580	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末	備 考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
187 枚		12 枚 46,370 円	175 枚	保有チケット 未使用50枚綴り3冊、使用中25枚

(3) 債 権

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

債 権 の 名 称	前年度末現在高		本 年 度 中				差引現在高		備 考
			増		減				
	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	
行政財産使用料	円 19,500	件 3	円 135,000	件 1	円 39,000		円 115,500	件 4	
合 計	19,500	3	135,000	1	39,000		115,500	4	

15 財産の貸付及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土 地

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住 氏 所 名	備 考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	電力供給配電線設備設置	米子市泉706	電柱 3本 支線 2条 支柱 1本	H18.3.2	H18.3.2	H18.4.1~ H23.3.31	月額=年額 1,500	9,000	米子市加茂町2-51 中国電力(株)米子営業所	
	電力供給配電線設備設置	米子市泉706	電柱 1本	H20.2.21	H15.3.25	H20.4.1~ H25.3.31	月額=年額 1,500	1,500	米子市加茂町2-51 中国電力(株)米子営業所	
	電力供給配電線設備設置	米子市岡成647	電柱 1本	H22.3.1	H22.3.1	H22.3.1~ H26.3.31	月額=年額 1,500	1,500	米子市加茂町2-51 中国電力(株)米子営業所	
	電気通信線路設備設置	米子市泉706	電柱 7本 支線10本 支柱 1本	H22.4.1	H17.2.1	H22.4.1~ H27.3.31	月額=年額 1,500	27,000	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株)鳥取支店	
	国土地理院基準点設置	米子市泉706	測量基準点 0.4㎡	H20.4.1	H14.3.25	H20.4.1~ H25.3.31	免除	免除	米子市加茂町1-1 米子市長	
計							39,000			
合計							39,000			

イ 建 物

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住 氏 所 名	備 考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	米子市無線放送個別受信機設置	米子市泉706	1台	H19.3.1	H14.3.25	H19.4.1~ H24.3.31	免除	免除	米子市加茂町1-1 米子市長	
計										
合計										

(2) 物品 該当なし

16 借受不動産明細調べ 該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1)職員住宅 該当なし

(2)職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料 (月額)(円)
行政財産	米子市泉706	12.5	1,000 (全免)

イ 異動状況

(行政財産)

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

月別	月初日 人	減		増		月末日		調定額 円	収入済額 円	収入未 済額 円
		人	うち 減免	人	うち 減免	人	うち 減免			
4月	33					33	33	0		
5月	33					33	33	0		
6月	33					33	33	0		
7月	33					33	33	0		
8月	33			2	2	35	35	0		
9月	35					35	35	0		
10月	35					35	35	0		
11月	35					35	35	0		
12月	35					35	35	0		
1月										
2月										
3月										
合計								0		

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

現金、有価証券 又は物品名	数量	金額	出納員又は 使用者職氏名	亡失、損傷 年月日、時	同左場所	同左概要	報告年月日	会計局の 審査結果
電話機	1	円 23,100 (23,100)	児童自立支援専門員 木村あかね	H22.5.28 10:30	喜多原学園 女子寮事務室	電話機コードを足に引っかけて落下させたため、電話機の液晶画面が表示しなくなった。	H22.5.28	賠償責任なし
合計								

備考:電話設備取得価格は主装置1台、電話機13台他を含む合計額は341,230円であるが、個々の電話機取得価格は不明。

○ 意見、要望等

(1)業務に関する意見・要望等 なし

(2)監査委員事務局に対する要望等 なし

喜多原学園個別事項

2.2 所管事項の概要（事業実施状況及び運営等で特に努力した事項、並びにその成果等を具体的に記載すること）

(1) 目的及び性格

本園は、児童福祉法第35条第2項及び同法施行令第36条（必置義務）に基づき鳥取県が設置した児童自立支援施設である。同法第44条に示されている「不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所させ、又は保護者の下から通わせて、個々の児童の状況に応じて必要な指導を行い、その自立を支援する」ことを目的としている。入所の対象となる児童は、児童相談所の措置又は家庭裁判所の審判によって決定されている。

非行は情緒不安定感の代償行為とも言われており、非行児童は、意志が弱く、欲求、感情などに自己統制力の欠ける面が見られるため、児童の心理的安定（安心感、満足感及び幸福感）を取り戻し、社会規範を身に付けさせ、自立のための総合的な生活力を養うための支援を行っている。「暮らす教育」（生活指導）、「学ぶ教育」（学習指導）、及び「働く教育」（作業指導）の三本柱を中心に、児童の社会復帰を目指している。

児童の入所理由は様々であるが、家庭及び地域の養育機能の低下が非行の背景にある。近年、被虐待児や注意欠陥多動性障害（ADHD）等の障害がある児童の入所が増加しており、心理的ケアや医療との連携にも努めている。

(2) 指導内容

ア 「暮らす教育」（生活指導）

本園の生活指導は、直接的には非行の改善を目的とするが、むしろ人格構造の改善強化を主として、規則正しい生活習慣を身に付けさせ実践させることにより、社会適応力を養成することを目指している。そのために、寮舎を基盤に毎日の園内活動において寮がもっとも安息できる場とし、家庭生活に近似した生活の場を構築して情緒の安定が得られるよう配慮しつつ、指導に携わる職員と児童の同一化（WITH CHILDREN 子どもと共に）を図るべく指導に当たっている。

「暮らす教育」の目標

- ①日常生活における起居動作の基本的習慣を養う。
- ②規則正しい生活リズムから生活意欲を呼び起こし、文化的生活に転化させる。
- ③劣等感・不安定感を取り除き、暖かい雰囲気の中で安心と信頼に満ちた生活を確立させる。
- ④集団生活を通して社会適応性を育てる。
- ⑤行事を多く取り入れ、生活にリズムを与え、明るく楽しい生活感情を持たせる。

イ 「学ぶ教育」（学習指導）

学園内に米子市立福生東小学校分教室及び米子市立福生中学校いずみ分校を設置し、学校教員による公教育を実施している。

分校では、児童の学年に合わせた学習指導を行っているが、入所以前には長期の不登校などにより学習の習慣化がなされていない児童が多いため、それぞれの児童個々の能力に応じた段階まで学習の幅を持たせて、学習に対する劣等感を取り除き、達成感を持たせながら興味や関心を引きだし、基礎学力の定着に努めている。

また、学習到達段階の様々な児童集団であるので、学習効果を上げるために、学校と寮生活とが協力的に補い合って学力の向上と望ましい人格の育成に努めている。

なお、ほとんどの児童が高校進学を希望しており、対象児童の能力に応じた適切な進路指導を行い、各学校や関係機関の協力を得ながら性向の改善を図り、確かな社会性をはぐくみ、社会参加を実現できるよう努めている。

ウ 「働く教育」（作業指導）

働く体験を通して、将来、健全な社会生活や職業生活を営むのに必要な態度や行動、勤労の習慣や精神、職業上の一般的知識などを身に付けることを目的としている。

農園作業、学園美化、陶芸作業、木工作業等の労作活動を積極的に取り入れ、自然に親しみ働くことの喜びを体得し、責任感や協働の力の養成を図っている。労作活動は学習場面とは異なり、開放的で児童と職員のふれあいにより一層の心理療法的効果を上げている。

また、中学校を卒業し就職を目標とする児童に対しては、「研修科」で園内作業を中心とした就職前訓練を行い、職場実習を経て就職及びその定着のための支援を行っている。平成17・18年度は近年になく研修科児童の入所が続いており、将来の職業生活の上に必要となる職業訓練や資格取得に関する支援内容の研修・研鑽が必要となっている。

主な指導内容は次のとおりである。

①園内環境整備 ②野菜栽培 ③花壇整備 ④果樹育成 ⑤園内調理実習 ⑥園外事業所実習

(3) その他の指導

ア 地域交流

入所児童の社会参加を促進するため、また、児童自立支援施設を地域社会に正しく理解してもらい地域との交友関係を深めるため、地域交流と情報発信に努めている。

平成21年度は具体的には、次の事業を実施した。

【地域交流】 22

①春の園遊会（6／4）、秋の園遊会（11／26）

②「こたか保育園」の児童との交流会

- ・芋苗植え交流会（6／1） ・水遊び交流会（8／11） ・芋畑草取り交流会（8／20）
- ・芋掘り交流会（11／1） ・クリスマス交流会（12／13）

③地域のスポーツ団体とのスポーツ交流会

- ・サッカー交流会（10／2） ・車いすバスケットボール交流会（11／28）
- ・バスケットボール交流会（2／26）

④「米子更生保護女性会」とのチューリップ球根植え・交流会（11／17）

⑤地元公民館との交流 ・大高公民館秋の文化祭に児童作品展

【情報発信】

①福祉・教育機関（小中学校）合同研修会 平成23年2月28日開催予定

②広報誌「喜多原だより」の発行（年1回）

イ 治療教育の実施

入所児童の問題は、生育環境とりわけ家庭養育機能の低下に起因した不適応の外に、生育歴の途上で発生した心的外傷等による情緒不安定が増大傾向にある。これについては、医学的・心理学的な検査診断及び治療が必要となる。精神科医師・小児科医師及び児童相談所、非常勤臨床心理士と連携をとって、医学的・心理学的治療と生活指導を併せて行い自立能力の向上を図っている。

ウ 健康管理と給食

給食業務については、平成21年度から給食業務委託となった。入所児童の中には疾病を持ったままの者もあり、集団生活上で伝染性疾患の予防や健康管理を行うため、委託業者及び医療機関との連携を密に対応し対応している。また、成長期にある児童の健康保持・増進と情緒安定のために給食にも留意し、栄養補給の質的低下をしないように常に工夫を凝らした献立調理を行っている。

エ 児童会活動

反社会的行動に陥り入所してきた児童たちが大半であるので、児童会活動を通して児童の自発的活動を喚起し、自主性を高め、自己の生活を自ら築き上げていく態度を育成している。職員は、児童自身の自由な表現や意見の表明の確保に留意しながら、側面的な指導と助言に当たっている。

オ 予後指導

本来崩れやすい性格や弱い意志の児童は、退所後も様々な刺激や誘いなどによって離職したり再非行につながりやすい。

在園時に信頼関係のあった職員が機会をとらえて訪問及び面接を行い、また、電話や手紙などで相談に応じながら社会生活や職場に適應できるよう支援している。

カ 非常災害対策

入所施設における災害対策は、児童福祉施設最低基準第6条に規定されている事項である。児童の生命と安全については絶対条件であり、危険防止とともに、諸災害を想定した年間計画に基づいて避難と防災の訓練を実施し、火災予防設備の点検は専門業者に委託して実施している。

キ 児童作品等販売活動委員会の設置

鳥取県監査院事務局からの指摘を受け、学園の指導方針の一部に位置づけている、「働く教育」の一環である生産活動や農場作業の成果及び創作活動による児童作品に関し、自家消費によってもなお生じる余剰分については、園遊会等を通して販売活動を行い、地域との交流を促進し鳥取県立喜多原学園の情報発信の一助とするとともに、その収益は県に納入する。

2.3 入所児童の状況

(1) 在所児童の年齢

(単位：人) (平成22年12月31日現在)

区分	7歳	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
男				1			1	2	3	1	1		9
女						1	2	2					5
計				1		1	3	4	3	1	1		14

(2) 在所児童の入所時年齢

(単位：人) (平成22年12月31日現在)

区分	7歳	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
男			1				2	3	2		1		9
女					1		3	1					5
計			1		1		5	4	2		1		14

(3) 入所理由(主訴)

(単位：人) (平成22年12月31日現在)

区分	窃盗	家出	金品持出	不良交通	怠学	放火	不純異性交遊	シンナー	恐喝	道交法違反	暴力	その他	合計
男	3								1			5	9
女	1	1				1					1	1	5
計	4	1				1			1		1	6	14

(4) 療育手帳の有無

(単位：人) (平成22年12月31日現在)

区分	有	無	合計
男		9	9
女		5	5
計		14	14

(5) 保護者の状況

(単位：人) (平成22年12月31日現在)

区分	実父実母	実父のみ	実母のみ	実父継母	継父実母	実兄(実姉)	祖父(祖母)	なし	合計
男	1		5		3				9
女	1		4						5
計	2		9		3				14

(6) 児童の出身地

(単位：人) (平成22年12月31日現在)

区分	中央児相			倉吉児相		米子児相				県外	合計
	鳥取市	八頭郡	岩美郡	倉吉市	東伯郡	米子市	境港市	西伯郡	日野郡		
男	1	1		1	1	4				1	9
女	1				1	1				2	5
計	2	1		1	2	5				3	14

(7) 児童の在所期間

(単位：人) (平成22年12月31日現在)

区分	6月未満	6月～1年	1年～1年6月	1年6月～2年	2年～2年6月	2年6月～3年	3年～4年	4年以上	合計
男	4	1	3	1					9
女	3	1	1						5
計	7	2	4	1					14

(8) 児童の月別入退所状況

(単位：人) (平成22年12月31日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	
21年度	入所	男			3			1					1	5	5
		女					1		2				1	4	4
	退所	男			1								5	6	6
		女							1				3	4	4
初日在籍		9	9	9	11	11	12	12	13	14	14	14			

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	
22年度	入所	男	1	1	1	2				1				6	6
		女				1			1	1				4	4
	退所	男						1		1				2	2
		女							1	1				2	2
初日在籍		8	8	10	11	14	14	14	13	14					

(注) 年度については、具体的な数値を記入すること。

(9) 退所児童の状況

(単位：人) (平成22年12月31日現在)

区分	人数	改善退所				未改善退所		
		家庭就学	家庭就職	就職斡旋	措置変更	自立支援困難	その他	
21年度	男	6	2	1		1	1	1
	女	4	1			1	1	1
22年度	男	2						2
	女	2	1			1		

(注) 年度については、具体的な数値を記入すること。

(10) 退所児童の在所期間

(単位：人) (平成22年12月31日現在)

区分	6月未満	6月～1年	1年～1年6月	1年6月～2年	2年～2年6月	2年6月～3年	3年～4年	4年以上	合計
前年度	男	1	1	3	1				6
	女		2	2					4
当年度	男		1	1					2
	女		1	1					2

(注) 年度については、具体的な数値を記入すること。

(11) 寮舎編成及び学級編成状況 (平成22年12月31日現在)

(単位:人)

区分		男子寮	女子寮
寮員	寮長	1	寮長 1
	副寮長	1	専門員 3
	専門員	3	支援員 2
	支援員	2	補助員 1
	補助員	1	
	計	8	計 7
小学校	1		
	2		
	3		
	4	1	
	5		1
	6		
中学校	1	1	1
	2	2	3
	3	3	
中卒	2		
合計	9	5	

(注) 寮員には、寮長を含む人数を記入すること。

(単位:人)

区分		小学分教室	中学分校	養護分教室	研修科	
					男	女
教員	講師	2	教頭 1			
			教諭 2			
			講師 2			
			兼務教諭 2			
			兼務講師 2			
	計	2	計 9			
小学校	1					
	2					
	3					
	4	1				
	5					
	6	1				
中学校	1		2			
	2		5			
	3		3			
中卒					2	
合計	2	10		2		

(注) 教員には、教諭、講師等の人数を記入すること。

24 支出区分表

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

科目	区分	事務費	生活諸費		教育費	見学 旅行費	学 費	期末一時 扶助費	探 検費	就 職 支 度 金	入 進 学 支 度 金	特 別 育 成 費	医 療 費	連 戻 費	措 置 費 計	枠 外 費	合 計
			飲食物費	日常諸費													
報酬															0	6,722,302	6,722,302
共済費															0	101,533	101,533
報償費		5,824													5,824	12,176	18,000
旅費		545,541													545,541	810,519	1,356,060
需用費		1,972,469	0	128,380	15,290		0	0	0	0	0	0	0	0	2,116,139	2,640,232	4,756,371
役務費		280,504													280,504	336,957	617,461
委託料		479,400													479,400	8,319,894	8,799,294
使用料及び賃借料 負担金、補助及び 交付金		263,428													263,428	263,429	526,857
		78,680													78,680	78,680	157,360
扶助費			38,013	1,109,397	170,650	137,400	65,910						15,790		1,537,160	0	1,537,160
合計		3,625,846	38,013	1,237,777	185,940	137,400	65,910	0	0	0	0	0	15,790	0	5,306,676	19,285,722	24,592,398

25 主な施設の整備状況

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

施設名	取得・造成・新築・ 改築・修繕等の別	面積又は数量	取得等の年月日及び工事 期間	金 額	備 考
男子寮及び女子寮	改築	寮室(4人部屋)に間仕切りを設置 し 2人部屋に改修(全5室)	取得等:現在施工中 工期:H22.12.10~ H23.3.10	6,541,500	予算:子育て支援総室
合計				6,541,500	